



シェリル クルーピ (Cheryl Crupi) 氏

**MetLife, Assistant Vice President
Global Lean-Agile Center of Excellence,
iSPCT and SAFe Fellow**



シェリル クルーピ氏は、メットライフ社の Global Lean-Agile Center of Excellence の創設者であり、リーダーを務めています。2015 年からメットライフ社に在籍し、適応力と革新に優れた、行動力のあるアジリストのグループを 40 か国以上で始動させることに貢献しています。メットライフ社の入社前は、アジャイルのチェンジチャンピオンとして、フォーチュン 500 掲載企業でリーンアジャイルの実践を 10 年以上にわたり推進してきました。

金融サービスや保険の専門知識をもち、スタートアップ企業、大企業、非営利団体、合併事業、大学などのスピード感や結果を重視されるさまざまな形態の組織での IT ソリューションデリバリーについて 25 年以上の経験を持ちます。チームのアジリティ確立から、ビジネスアジリティの実現にいたるまで、アジリティの実践によるベネフィットのデリバリーに熱意を持ち、2011 年の Scaled Agile, Inc. の発足以来、Scaled Agile Framework と協働しています。

シェリルは SAFe フェローであり、SAFe プログラムコンサルタントトレーナー (SPCT) の認定を取得しています。LinkedIn のプロフィールページ (<http://linkedin.com/in/cherylcrupi>) からコンタクトいただけます。

南嶋 千春氏

メットライフ生命

Director, Execution Excellence, SPC



南嶋千春のアジャイルの経験は 2016 年からですが、その経験は生命保険会社におけるアジャイルトランスフォーメーションに集中しています。メットライフ生命のエンタープライズアジャイルコーチとして、また MetLife Global Lean-Agile Center of Excellence のメンバーとして、チームやプロジェクト、個人を指導しながら、Agile Community of Practice のファシリテーターも務めています。メンバーが学び成長する姿を見るのが彼女の原動力です。アジャイルを通して、人と文化にフォーカスし、メンバーが仕事に喜びを見いだせるよう支援することに情熱を注いでいます。

顧客事例 – メットライフ生命:

『SAFe でアジリティを加速する – メットライフ生命のストーリー』

過去 5 年間、メットライフ生命はアジリティの実験的な取り組みを開始し、また SAFe を採用することで経営幹部が支援するグローバル企業のアジリティへと発展してきました。大規模なグローバル企業は、次のようなアジリティの予測可能なフェーズを辿ります。1) 実験的な取り組みから始まり、2) 徐々により大規模でより複雑なイニシアチブでアジリティを発揮することで自信を付け、3) その後、ビジネスラインやリージョンにアジリティを拡大していきます。本講演では、早期に価値を実証すること、システム上の障壁に取り組むこと、経営幹部の支持を得ること、そして日本のトップ戦略市場に進出することなど、アジャイル導入における各段階で考慮すべき重要な点や、メットライフ生命が学んだことを紹介します。